

PLAN	No.	18	—	1	基本事務事業名	児童公園維持管理事業	事務事業名	児童公園維持管理事業	公的関与	1	シート作成日	令和6年6月7日		
	部局名	健康福祉部			課名	子育て支援課	主務課長名	森友 晴美		シート作成者名	吉川 凌平			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(7)公園・緑地の充実				☐ 1 該当		令和 17 年	～	令和 年	☐ 期間設定なし	
		主要施策		(2)公園・緑地の管理体制の充実				☒ 2 非該当		根拠法令等		児童福祉法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		地域の児童										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	良好な状態での管理のもと、広く児童等の利用に供することを目的としています。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 遊具の安全管理													
	② 施設内の除草、樹木の剪定等													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	なし		数値目標の設定は、事業になじまない。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	3	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
			令和 4 年度決算			令和 5 年度決算			令和 6 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	1,587		千円	1,854		千円	1,347		千円			
		計(A)	1,587		千円	1,854		千円	1,347		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	2,000	人	12,085	千円	2,000	人	12,119	千円	2,000	人	11,905	千円
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	全体事業費(A+B)				13,672	千円			13,973	千円			13,252	千円

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	児童公園の機能として有効に活用されている施設とそうでない施設があります。(遊具施設1施設、広場型3施設、プール施設1施設)うち1施設は、国の用途指定財産となっています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☒ ない	☐ ある		☒ ない	☐ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	良好な施設を維持するために、シルバー人材センター等に依頼して管理を行っています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☒ いえない	☐ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒ する	☐ しない		☒ する	☐ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	管理については、年2回程度の除草作業を行っています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☒ 高い	☐ 適当	児童公園としての機能を備えていないため、施設を見直す必要があります。	☒ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		2	2	3	3	C	2	2	4	3	C
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	地域の子どもたちに有効活用されている施設もありますが、整備から年数が経過しており、人口構造、地域ニーズ等が変化しており、当初の目的としては利用頻度の低い施設が多くなっております。利用者の実情にそった、より有効な活用方法の検討が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	施設ごとの現状を把握して、遊具の安全確保と環境整備を実施し、適正な維持管理に努めます。					利用状況、コスト等を勘案し、利用者の実情にそったより有効な活用方法を検討する必要があります。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	18	—	2	基本事務事業名	交通遺児手当支給事業		事務事業名	交通遺児手当支給事業		公的関与	9	シート作成日	令和6年6月11日			
	部局名	健康福祉部			課名	子育て支援課		主務課長名	森友 晴美		シート作成者名	新居 栄子					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(2)子育て支援の充実				☒ 1 該当		令和 17 年 ~		令和 年		☒ 期間設定なし			
		主要施策		(1)多様な子育て支援施策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等		市交通遺児手当支給規則					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に住所を有する者で、当該年度の4月1日現在において交通遺児(父または母が交通事故により死亡した18歳未満の者)の保護者であり、引き続き交通遺児を養育する者													
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	手当を支給し、児童の健全な育成の助長と福祉の増進を図ります。												
				今年度													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 交通遺児を養育する保護者から申請を受け、手当を支給(毎年10月)します。																
	② 手当の支給額は児童1人につき年額1万円です。																
	③																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標							
	受給児童数					目標				3							
						実績	3	3									
						目標											
						実績											
						目標											
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	3	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費			
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円						
		県支出金			千円			千円			千円						
		地方債			千円			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円			千円						
		一般財源	30 千円		30 千円		80 千円										
		計(A)	30 千円		30 千円		80 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円							
		会計年度任用職員職種															
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		30 千円		30 千円		80 千円										

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	交通遺児手当の給付事業は阿波市の独自事業ですので必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	交通遺児に対する給付事業は、対象数は少数ですが、有効な制度です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標設定するのにふさわしくない事業です。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	件数は少ないですが、他の実施主体のノウハウ等を活用する余地はあります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	支給金額も少なく対象者も少数ですが、福祉サービスの一環として事業を実施する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	広報や阿波市ホームページでの周知の他、学校等に依頼し周知を行います。					本事業の給付金事業は、福祉サービスの一環として、今後も引き続き実施します。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	18	—	3	基本事務事業名	認定こども園等運営事業	事務事業名	多子世帯保育料軽減事業	公的関与	3	シート作成日	令和6年6月10日			
	部局名	健康福祉部			課名	子育て支援課	主務課長名	森友 晴美	シート作成者名	松永 有未					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)子育て支援の充実				☒ 1 該当		令和	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(1)多様な子育て支援施策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		多子世帯(18歳未満の児童が3人以上いる世帯)の第3子以降の児童の保護者の方が対象です。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを生み育てられる環境作りを推進します。										
				今年度	多子世帯の児童を養育する保護者の経済的負担軽減を図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 多子世帯(18歳未満の児童が3人以上いる世帯)の第3子以降の児童の保育料を免除します。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
	出生者数		出生者数		人	目標	245	245	245						
						実績	140	117							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	16	県支出金	項	2	県補助金	目	3	県民費県補助金	
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	3,363 千円		3,723 千円		4,082 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	千円		千円		千円								
		計(A)	3,363 千円		3,723 千円		4,082 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
		会計年度任用職員職種													
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		3,363 千円		3,723 千円		4,082 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	多子世帯の経済的負担軽減のために必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	保育料が無料化されることによる経済的負担軽減の有効性は高いです。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	出生者数増加の効果を上げるための一因として、事業を継続実施していく必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	県の補助事業を活用することにより、効率的に実施できています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	本事業の周知を図り、経済的支援を実施し、出生者数の増加に繋げていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	広報誌、ホームページ等を利用し、制度の周知を行います。					保育料の無料化を図ることにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられるよう支援を継続します。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	18	—	4	基本事務事業名	放課後児童健全育成事業	事務事業名	放課後児童クラブ設置運営事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月7日		
	部局名	健康福祉部			課名	子育て支援課	主務課長名	森友 晴美	シート作成者名	岡田 海人				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2)子育て支援の充実				☒ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(1)多様な子育て支援施策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。										
			今年度	指定管理者が安定した運営ができるように支援します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各放課後児童クラブ指定管理業務及び運営委託業務に関する事務													
	② 指定管理者への助言指導													
	③ 事業実施に係る県との協議、補助金交付申請、実績報告													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標						
	クラブ設置率	クラブ数／小学校区	%	目標	100	100	100							
				実績	100	100								
				目標										
				実績										
				目標										
実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	3	児童福祉費	目	6	放課後児童健全育成事業
			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	35,262 千円		34,490 千円		40,673 千円							
		県支出金	35,262 千円		34,490 千円		40,673 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	45,619 千円		45,707 千円		50,693 千円							
		計(A)	116,143 千円		114,687 千円		132,039 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,021 千円	0.500 人	3,030 千円	0.500 人	2,976 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		119,164 千円		117,717 千円		135,015 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	放課後のこどもの居場所として必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	各クラブとも利用を希望する児童が多くニーズは高くなっています。	☐ いえない	☒ いえる					
	2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	平成28年度から全小学校区に放課後児童クラブを設置し、指定管理者制度を導入することにより、運営の均等が図られました。	☐ 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	平成28年度から、指定管理者制度を導入し、効率的に運用しています。	☐ 高い	☒ 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	市内全てのクラブで指定管理者による安定した運営ができるように、市が積極的に支援していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	指定管理者が円滑に運営できるよう、何か問題があればその都度協議して解決に努めます。					市内10か所すべての小学校区に放課後児童クラブの施設整備を行い、統一した管理運営ができるよう、指定管理者と協議し、児童の健全育成に努めてまいります。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	18	—	5	基本事務事業名	病児・病後児保育事業	事務事業名	病児・病後児設置事務	公的関与	9	シート作成日	令和6年6月10日		
	部局名	健康福祉部			課名	子育て支援課	主務課長名	森友 晴美	シート作成者名	新居 栄子				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2)子育て支援の充実				☒ 1 該当		令和 28 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(1)多様な子育て支援施策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等	児童福祉法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(特に保育所及び認定こども園児童とその保護者)										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	保護者の就労等で、乳幼児等が病気の際に自宅での保育が困難な場合、病院・保育所等で一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった乳幼児等への緊急対応等を行うことで、安心して子育てができる環境整備と児童福祉の向上を図ることを目的とします。										
			今年度	病児保育従事者の研修を行い質の向上を目指し、安心して預けられる事業となるよう指導します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 満1歳から小学6年生までの子どもが疾病等で、集団保育や家庭で保育できない場合に、子どもを一時的に預かる事業です。													
	② 児童が病気の場合において、病院等の専用スペースで一時的に保育します。													
	③ 児童が保育中に微熱を出すなど体調不良となった場合において、保育所等に通所する児童に対し保健的な対応等を図ります。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	病児・病後児保育実施施設	設置施設数	箇所	目標		4	4	4						
				実績		2	2							
				目標										
				実績										
				目標										
				実績										
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	3	児童福祉費	目	1
直接事業費		令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
		国庫支出金	5,335 千円		6,343 千円		6,349 千円							
		県支出金	5,335 千円		6,343 千円		6,349 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	266 千円		526 千円		800 千円							
		一般財源	5,336 千円		6,344 千円		6,348 千円							
		計(A)	16,272 千円		19,556 千円		19,846 千円							
人件費(B)		正職員工数・経費	1.000 人	6,042 千円	1.000 人	6,060 千円	1.000 人	5,953 千円						
		会計年度任用職員職種												
	会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		22,314 千円		25,616 千円		25,799 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	子育て中の就労支援として、保護者のニーズは特に高く、仕事と家庭の両立の支援として必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	認定こども園などでは、病氣中の子どもは保育ができないので、仕事を休めない保護者にとって、とても有効な事業です。	☐ いえない	☒ いえる					
	2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	病児保育施設の利用者は、年々増加しています。	☐ 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	事務の効率化を図る余地はあります。	☐ 高い	☒ 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	3	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止	
	当面の課題	保護者からのニーズが多かった病児・病後児保育事業は、市内に2か所の医療機関が実施しており、年間利用者は増加していますが、医療機関はコスト面で厳しいため、今後は円滑な運用に向けての検討が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	円滑な運営ができるよう補助金の活用など財源の確保を行います。					病児・病後児保育事業のニーズは多く、市内で2か所の医療機関に委託しております。今後も、円滑な運用に取り組めるよう委託医療機関との連携・調整を図ってまいります。					
委員会指摘事項											